



**令和3年度補正予算
経済連携協定関連ツール
開発実証事業費補助金 事業報告**

**東京共同会計事務所
(株)東京共同トレード・コンプライアンス**



■ 目次

I .実証事業の概要

II .実証要素の成果物

III .各業界の実証要素に関する活動実績



■ 目次

I .実証事業の概要

II .実証要素の成果物

III .各業界の実証要素に関する活動実績

1. 実証事業の概要

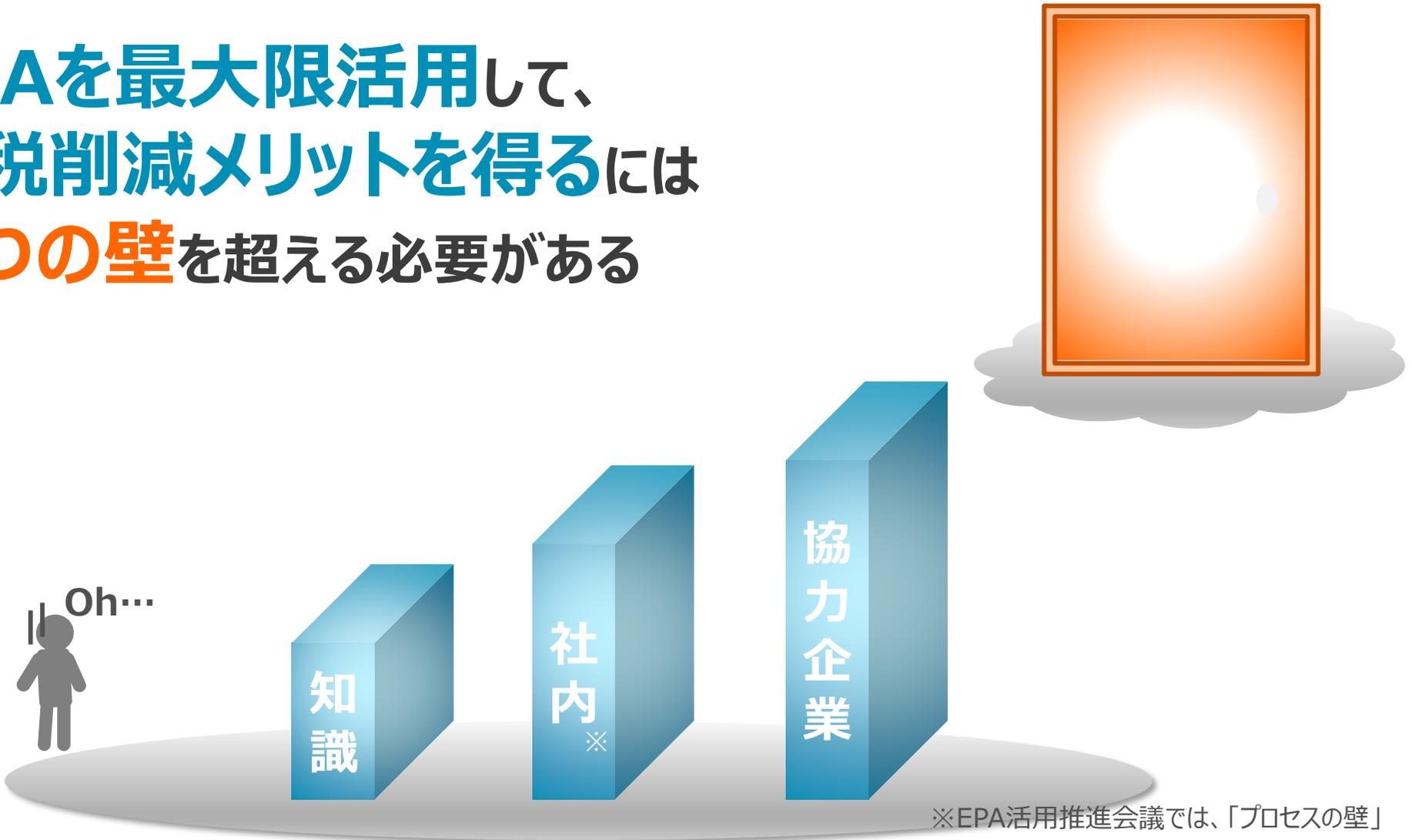
令和3年度補正「経済連携協定関連ツール開発実証事業費補助金」事業

実施団体	経済産業省 通商政策局 経済連携課
目的	EPA関連手続きを簡素化するツール開発に係る実証への支援をすることにより、RCEP協定等の利用による成長を、中堅・中小企業まで波及させること
期間	令和4年3月28日～令和5年2月28日
予算	令和3年度補正予算 経済産業省補助事業
事業内容	<ol style="list-style-type: none">1. 課題解決のための業界標準となる作業フロー等をまとめたマニュアル2. 業界毎に原産地証明書の申請準備に必要な根拠書類の標準フォーム3. 業界専門用語等とHSコード候補の組み合わせに係るデータセットの構築4. ワンストップでEPA関連手続きを簡易に準備できるデジタルツールの試作品開発
重要事項※	事業遂行にあたって、10業界/1000社以上のヒアリング又はアンケートの実施 業界団体のアレンジやMtg.は、経産省ご担当者もサポート
実施方法	<ol style="list-style-type: none">(1)調査フェーズ : 多数の企業の意見聴取、EPA利用の実態、課題抽出等(2)実証フェーズ : デジタルツールの実証事業(3)フォローアップ : 結果報告

I. 実証事業の概要

2. 実証事業の背景（課題）

EPAを最大限活用して、
関税削減メリットを得るには
3つの壁を超える必要がある



I. 実証事業の概要

2. 実証事業の背景（課題）

知識の壁とは

- 「EPA」と調べてみたら、情報サイトやマニュアルがたくさんあり、どれを見たらいいかわからない
- 社内で分かる人がおらず、誰にも相談できずに困っている
- 専門用語が多くて都度調べることが負担だ
- 判定基準を見たが、難しい書き方で意味が分からず、どれを選択すればよいか見当がつかない・・・



社内の壁とは

- 他部署に協力を依頼しようとしたが、理解を得るための説明ができない
- 上司にEPA業務について業務内容の確認や理解を求めたいが、状況が整理できていない
- 他部署依頼をしたが、後回しにされてしまい、なかなか回答を得られない・・・
- 対応できる人員が足りない



協力企業の壁とは

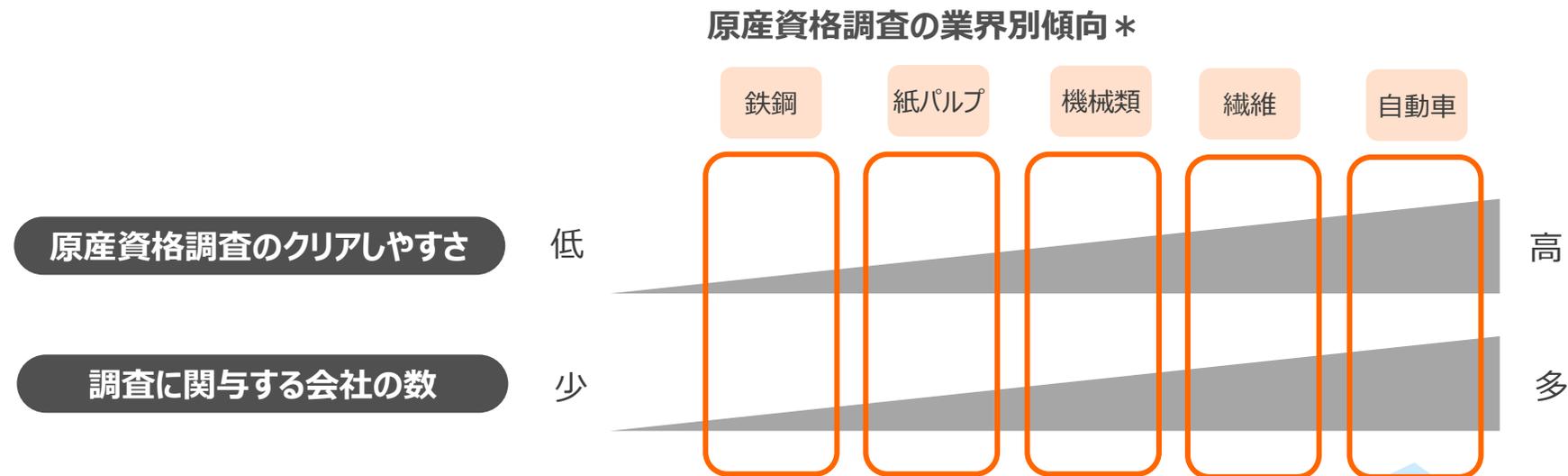
- 協力企業に依頼しようとしたが、理解や協力を得るための説明ができない
- 情報開示ができないという理由で協力企業からFTAへの協力を断られた
- 提出された書類の内容が正しい手続きに沿って行われているか不安が残る
- 協力企業側も他の顧客から依頼があるようで、電話やメールでの様々な依頼に困惑している



3. 実証事業における先進的アプローチ① ー業界別ー

業界別に区分して課題・特徴を整理

原産資格調査は、**業界の特殊性により、適用できる品目別原産地基準やそのために必要な工数が異なります**。加えて、品目別原産地規則が自社ではクリアできず、仕入先への原産材料の調査の依頼が発生する場合、協力を得るのは容易ではなく、EPAを活用することが難しくなる傾向にあります。



原産資格調査の難易度が高くなればなるほど、自社のみでは原産品としての条件をクリアすることが難しく、サプライヤーへの依頼が増加する傾向があります

サプライチェーンが長く、より多くの仕入先の関与が求められると工数が増加するため、利用が難しくなる傾向にあります

* TKTCが過去実施したヒアリングから大枠の傾向を表したものであり、全てのケースに当てはまるものではありません。

3. 実証事業における先進的アプローチ② ー検討ルートー

企業の声を集約・反映できるよう
業界団体を経由した、業界横断レベルでの検討のルートを構築

EPA活用推進サイクル -四半期-

A : 業界横断レベル
各業界団体での活動についての発表

B : 業界団体レベル 各業界団体におけるEPA活用促進の企画・運営

活動状況のご報告

EPA活用推進会議

主催：経済産業省

B: 業界団体レベル 10業界

自動車
業界

産業機械
業界

化学業界

金属鉄鋼
業界

繊維業界

パルプ
業界

航空業界

素形材業界

情報通信機器
業界

輸送機器
業界

会議内容の
ご報告

C : 企業レベル 1,915社*



*実証事業でのセミナー/ヒアリング/アンケート/実証事業版JAFTASユーザー数（延べ） 2023年1月時点

3. 実証事業の先進的取り組みにより期待される効果

従来

EPAに関してはたくさんの情報が公的機関より出されているが...

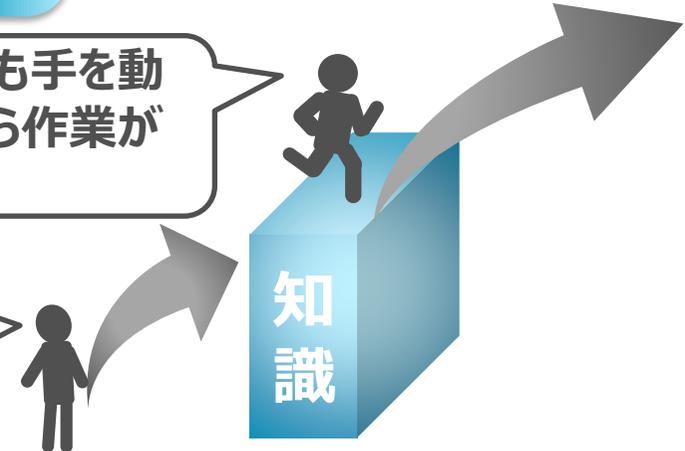
情報は探してみたが、具体的に何をすればいいのかわからない...



実証事業

初めてでも手を動かしながら作業ができた！

早速、必要な情報がわかった！



利用者が自ら必要な情報を抽出することが必要

- 輸出者・生産者・サプライヤーの立場が区別されずに**包括的に解説**
- 様々な業界の製品に対応するため、**抽象的な表現**となっていたり、**情報が膨大**
- 経済産業省ガイドライン、日本商工会議所マニュアル等、**必要な情報が分散している**

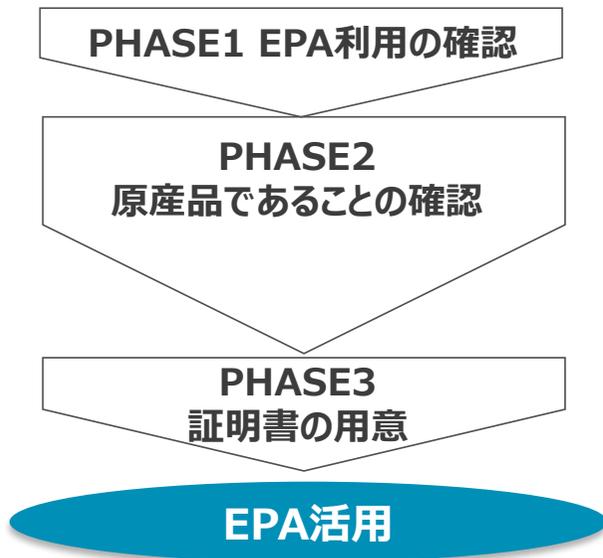
標準化された使いやすいツールの提供によるプロセスの効率化

I. 実証事業の概要

3. 実証事業の先進的取り組みによる成果物

令和3年度補正予算事業の実証要素	成果物
1.課題解決のための業界標準となる作業フロー等をまとめたマニュアル	①業界別EPAマニュアル ②標準フォーム
2.業界毎に原産地証明書の申請準備に必要な根拠書類の 標準フォーム	
3.業界専門用語等とHSコード候補の組み合わせに係るデータセットの構築	③HS LAB
4.実証ユーザーによるデジタルツールのご利用と意見募集	④-1FTA Port ④-2実証事業版JAFTAS改修及び新規機能への意見集約書

実証事業の成果物の位置づけ



①業界別EPAマニュアル	②標準フォーム	③HS LAB	④-1 FTA Port	④-2 実証事業版JAFTAS
手続き方法の ガイド・解説	1. EPA利用確認書	輸入国で確認された HSコードの関連情報 検索	輸入国税 関情報	上記①-④の要素 を包含した システムの利用を通じて システムに必要な要件の 意見集約と機能改修
	2. 対比表、 計算WS		協定情 報	
	3. 依頼・回答シート	構成 品・材料の 候補検索	用語集	
	4. サプライヤー証明書		QA 等	
	5. 自己証明の申告 書			

I. 実証事業の概要

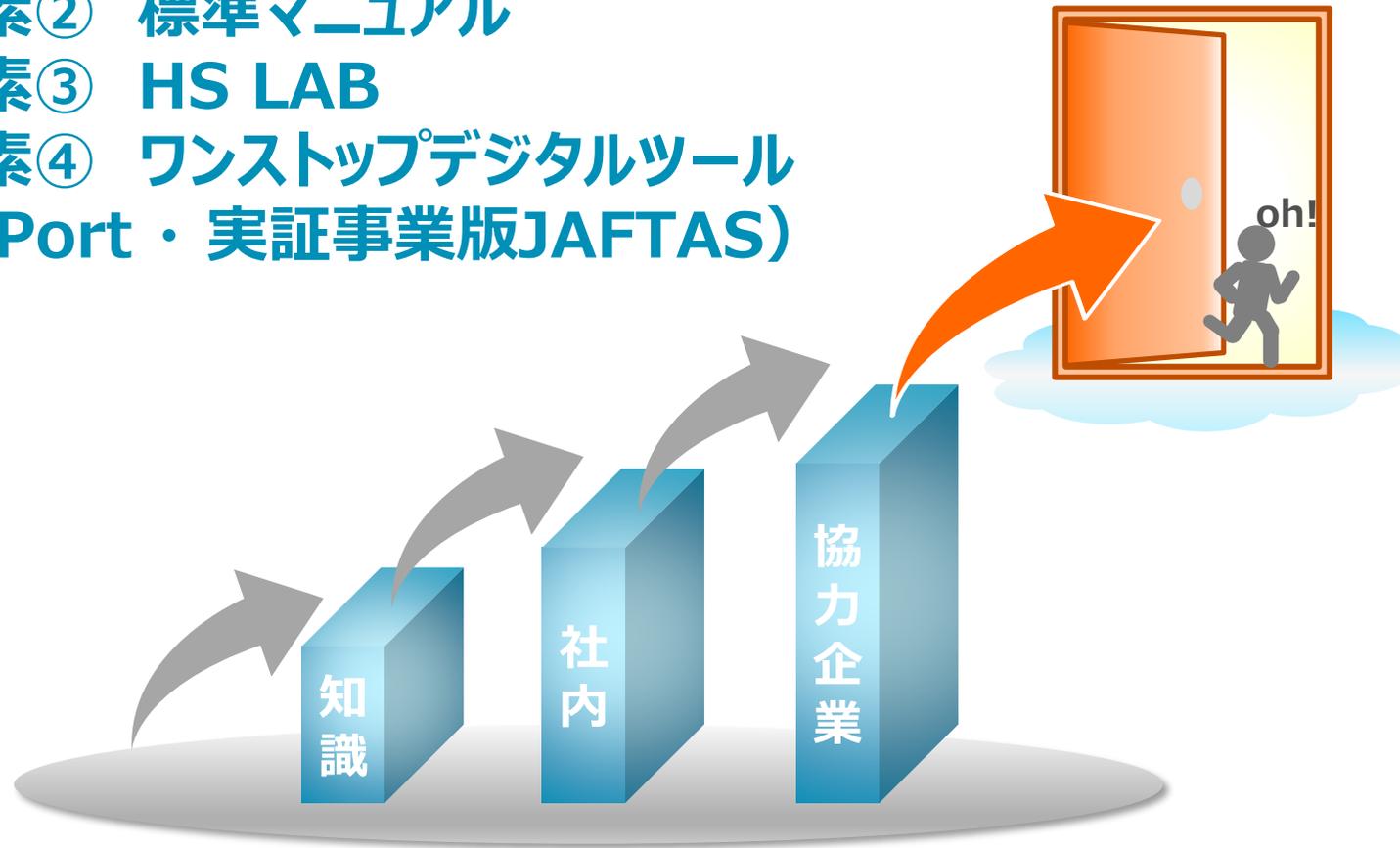
3. 実証事業の先進的取り組みによる成果物

	7～9月	10～12月	1～2月
業界横断検討	第1回 EPA活用 推進会議	第2回 EPA活用 推進会議	第3回 EPA活用 推進会議
①業界別EPAマニュアル ②標準フォーム	4 業界（繊維/印刷産業機械/紙パルプ/鉄鋼）		2 業界（建設機械/工作機械）
③HS LAB	自動車業界用語とHSコードの検索		
	鉄鋼/繊維/紙パルプ/印刷産業機械等のHSコード検索		
④-1 FTA Port	EPA/FTA特化情報検索サイト FTAはじめの一步/マンガでわかるEPA/協定条文等		
	FTA理解度クイズ/世界の税関等		
	業界マニュアル		
④-2 実証事業版 JAFTAS	実証事業版JAFTAS 申込受付		
	実証事業版JAFTAS の各機能をリリース		
	HSコード管理機能追加		

3. 実証事業の先進的取り組みによる成果物の効果

3つの壁を超えるサポート

- 実証要素① 業界別EPAマニュアル
- 実証要素② 標準マニュアル
- 実証要素③ HS LAB
- 実証要素④ ワンストップデジタルツール
(FTA Port・実証事業版JAFTAS)





■ 目次

I .実証事業の概要

II .実証要素の成果物

III .各業界の実証要素に関する活動実績

II.実証要素の成果物 (実証要素 ①業界別EPAマニュアル & ②標準フォーム)

6業界・9業界団体の方々にご協力をいただき、業界別EPAマニュアルとそれに対応した標準フォームを作成

<https://jaftas.jp/industry/>

種類	対象者	主な目的	特徴	業界 (御協力いただいた団体)	冊子	標準フォーム
概要編	経営層 ・ 実務担当者 (初心者)	以下を理解すること -EPAとは -EPAのメリット	EPAの概要や、活用によるメリット（輸入者の関税削減に伴う、間接的な効果を含む）など、 必要最低限の基礎知識 を、業界別の実態に合わせて解説	繊維（日本繊維産業連盟、日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合、日本化学繊維協会） 紙パルプ（日本紙類輸出組合） 印刷産業機械（日本印刷産業機械工業会） 建設機械（日本建設機械工業会） 工作機械（日本工作機械工業会）		
実務編	実務担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・EPA利用までの基本的な作業手順を理解する ・社内におけるEPA業務フローの構築について検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・EPAを利用するまでに必要な業務を、各業界の製品特性、並びにサプライチェーン上の役割を踏まえて、必要な事項に絞って解説 ・EPAを利用するまでの各業務における、業界横断の標準フォームを作成、標準フォームに連動する形でEPAの手続きを解説 	鉄鋼 (日本鉄鋼連盟)	商社編 生産者編	(業界横断) 1. EPA利用確認書 2. 対比表、計算WS 3. 依頼・回答シート 4. サプライヤー証明書 5. 自己証明の申告書 (繊維業界用) 生産内容証明書 材料情報の依頼・回答シート
			繊維 (日本繊維産業連盟、日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合、日本化学繊維協会)	輸出者編 生産者編		
			紙パルプ (日本紙類輸出組合)	輸出者編 生産者編		
			印刷産業機械 (日本印刷産業機械工業会)	輸出者兼生産者編 輸出者編 生産者編		
			建設機械 (日本建設機械工業会)	輸出者兼生産者編		
			工作機械 (日本工作機械工業会)	輸出者兼生産者編		
			業界共通	サプライヤー編		

II.実証要素の成果物 (実証要素 ①業界別EPAマニュアル & ②標準フォーム)

特徴1

業界の課題や特徴を反映し、レベル別・立場別の複数の種類のマニュアルを業界別に作成 (全17冊)

下記以外に、業界横断でのサプライヤー用の冊子も作成

業界	課題	業界マニュアルにより期待される効果	対象者の知りたいレベル感に応じて概要編と実務編を作成 (レベル別)	マニュアルの種類	
				概要編	実務編
鉄鋼	業界としての取り組みが進んでおり、一般的によく利用されているが、より標準化を進めることが業界全体での効率を上げられる	デジタルツールを取り入れた標準化フローへの理解の共有	商社と高炉メーカーという商流が明確 商社は、同一の会社が輸出者にも中間業者にも両方なる →商社編(輸出者・中間業者) 生産者編(高炉メーカー)を作成	-	商社編(輸出者・中間業者) 生産者編(高炉メーカー) 商社編 生産者編
印刷産業機械	一般的にEPAは輸入者の依頼により受動的に使っている傾向にあり、まだ積極的に活用しきれていない	受動的になっている要因としての知識の壁を超えられること	知識の壁を越えやすいように、簡単にEPAのメリットや手続きの概要がわかるコンテンツが必要→概要編・立場別の実務者編を作成	○	輸出者兼生産者編 輸出者編 生産者編
繊維	中小へのEPA利用のための理解が進んでいない	中小企業も含めたEPA利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手続きの概要がわかるコンテンツが必要→概要編・立場別の実務者編を作成	○	輸出者編 生産者編
紙パルプ	中小へのEPA利用のための理解が進んでいない	中小企業も含めたEPA利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手続きの概要がわかるコンテンツが必要→概要編・立場別の実務者編を作成	○	輸出者編 生産者編
建設機械	大手を中心にEPAを利用しているものの、中小を中心に業界全体としてのEPA利用のための理解が進んでいない可能性が高い	中小企業も含めたEPA利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手続きの概要がわかるコンテンツが必要→概要編・立場別の実務者編を作成	○	輸出者兼生産者編
工作機械	大手を中心にEPAを利用しているものの、中小を中心に業界全体としてのEPA利用のための理解が進んでいない可能性が高い	中小企業も含めたEPA利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手続きの概要がわかるコンテンツが必要→概要編・立場別の実務者編を作成	○	輸出者兼生産者編

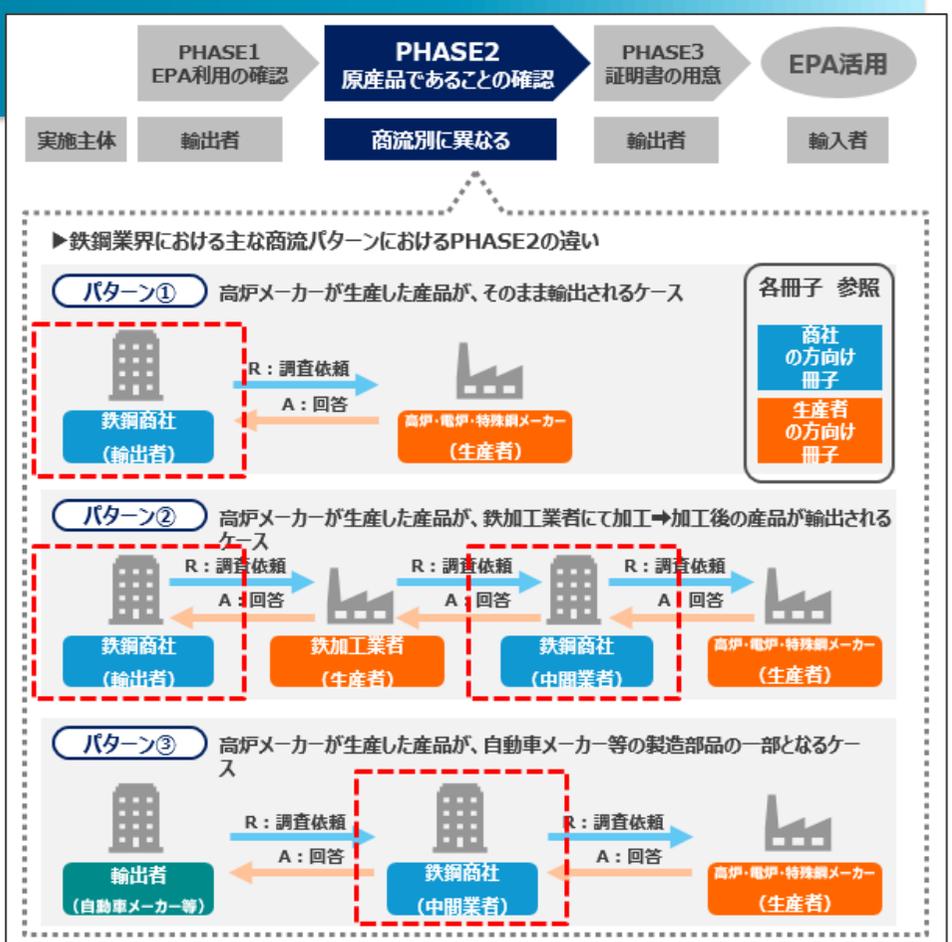
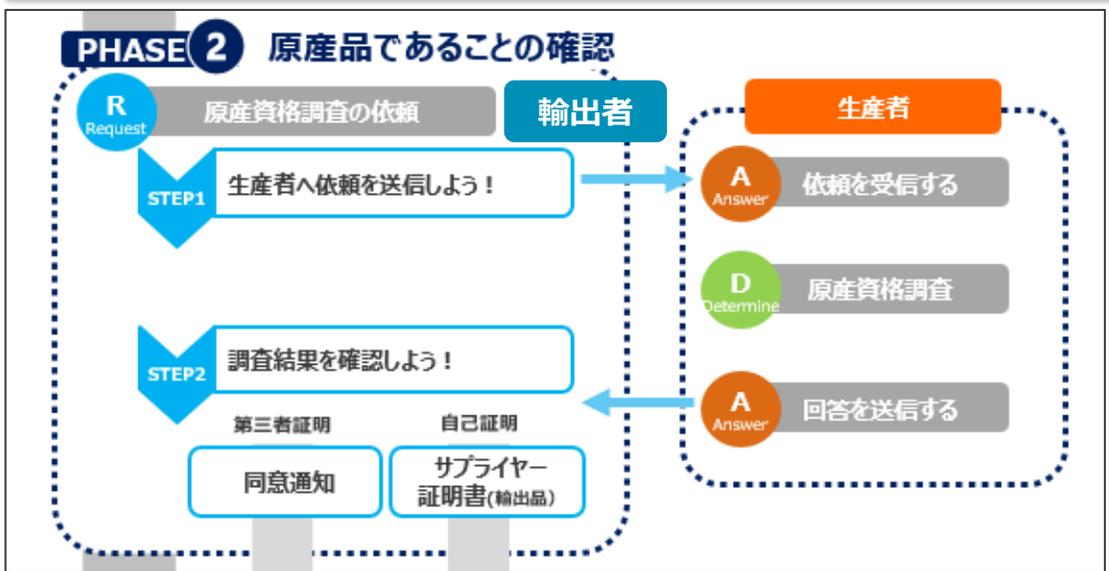
各業界別の標準的な商流パターンに即した立場別の冊子(立場別)

【実務編】とは

膨大な情報となるため、各利用者の必要な情報だけを簡潔に理解してもらうために、**立場別（輸出者・生産者・輸出者兼生産者・サプライヤー・中間業者）**に解説

各業界の標準的な商流にもとづき、
各立場別にマニュアルを作成

各立場別のフローにおいて他との関係がわかるように図解



特徴2

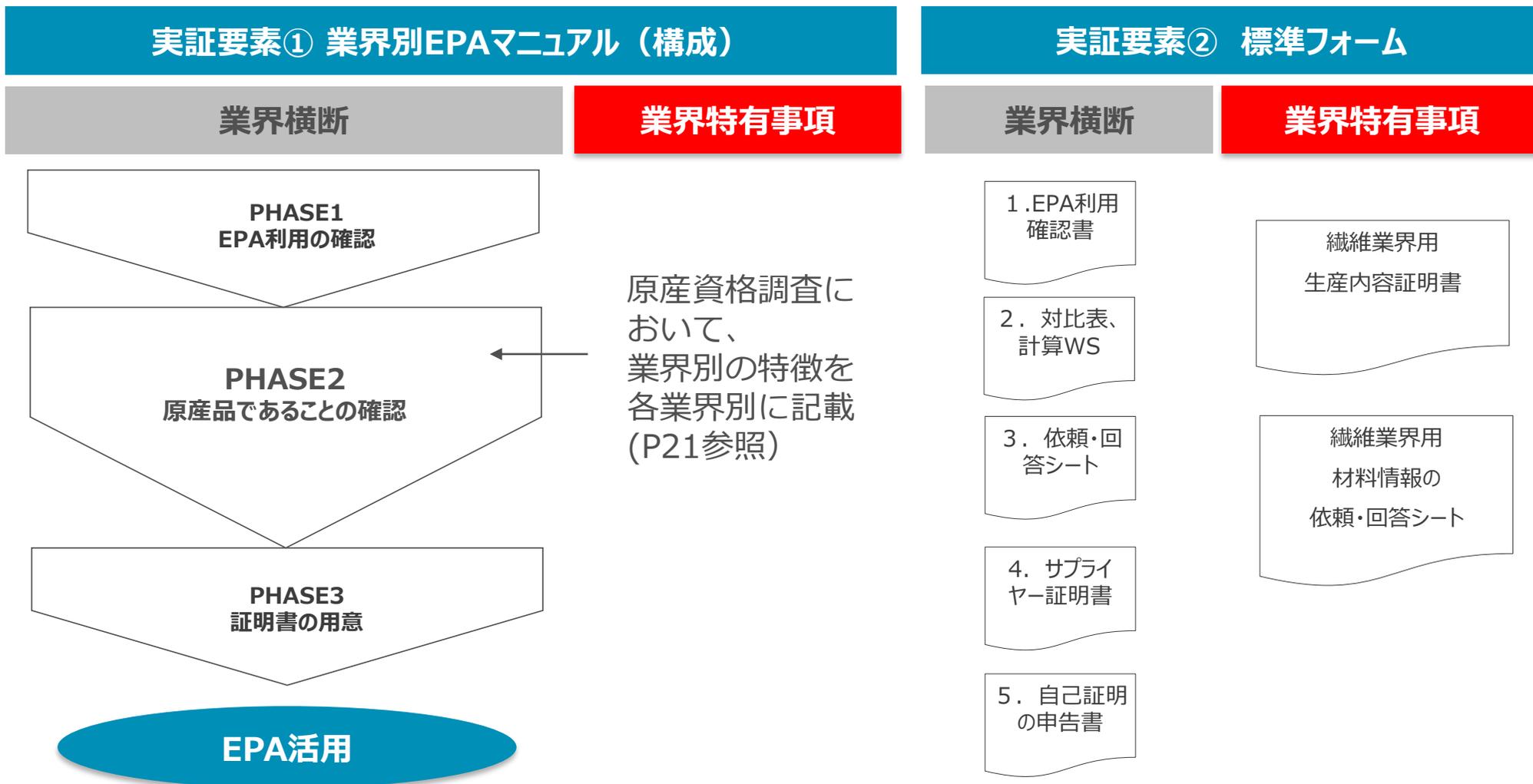
原産資格調査における業界の課題や特徴あり。それを反映し、**各業界の標準パターン**における必要な情報を集約

業界マニュアルで用いた製品の原産資格調査の特徴・課題			CTC(関税分類変更基準)		VA(付加価値基準)		SP(加工工程基準)	
業界	マニュアルで用いた製品	原産品判定する主体		使いやすさ/業界特有事項		使いやすさ/業界特有事項		使いやすさ/業界特有事項
鉄鋼	冷延コイル 	生産者	○	項レベルで変更するのでクリアしやすい (鉄鋼全般、CTCでのクリアがしやすい傾向にあり)	×	業界全体として、VA証明不可のため、使われていない		
印刷産業機械	グラビア印刷機 	生産者	○	号レベルで変更しクリアしやすい しかし、構成品・材料の数が多いため、ユニット単位に纏めることで作業の効率化を推奨	△	付加価値でのクリアのしやすさは会社・種類により異なるが、グラビア印刷機の場合CTCでの対応が効率的		
繊維	ポリエステル織布 	輸出者	△	PSRが難解 HSコードが項レベルでの変更が起こるが、追加条件も確認する必要があり 情報を仕入先より入手する必要あり			△	PSRが難解 加工情報を仕入先より入手する必要あるが、入手できればクリアしやすい*
紙パルプ	上級印刷用紙 	生産者	○	類レベルで変更するのでクリアしやすい	×	業界全体として、付加価値が少なく、クリアしにくい		*PSRを満たす生産工程が日本で行われている前提での判断
建設機械	油圧ショベル 	生産者	○	項レベルで変更するので、クリアしやすい しかし、構成品・材料の数が多いため、ユニット単位に纏めることで作業の効率化を推奨	△	付加価値でのクリアのしやすさは会社・種類により異なるが、油圧ショベルの場合はCTCでの対応が効率的		
工作機械	平面研削盤 	生産者	○	項レベルで変更するので、クリアしやすい しかし、構成品・材料の数が多いため、ユニット単位に纏めることで作業の効率化を推奨	△	付加価値でのクリアのしやすさは会社・種類により異なるが、平面研削盤の場合はCTCでの対応が効率的		

上記製品では、サプライヤー証明書を入手しなくても品目別原産地規則はCTCまたはSPでクリアされることを想定。ただし、他の製品でも当該マニュアルを汎用的に活用いただけるように、仕入先へのサプライヤー証明書の依頼が必要なケースや、依頼をする際にサプライヤーの方がご利用いただけるようサプライヤー編も作成。

業界横断と業界特有事項の整理

基本の流れは共通にして、各業界別の特有事項を追加する形で構成



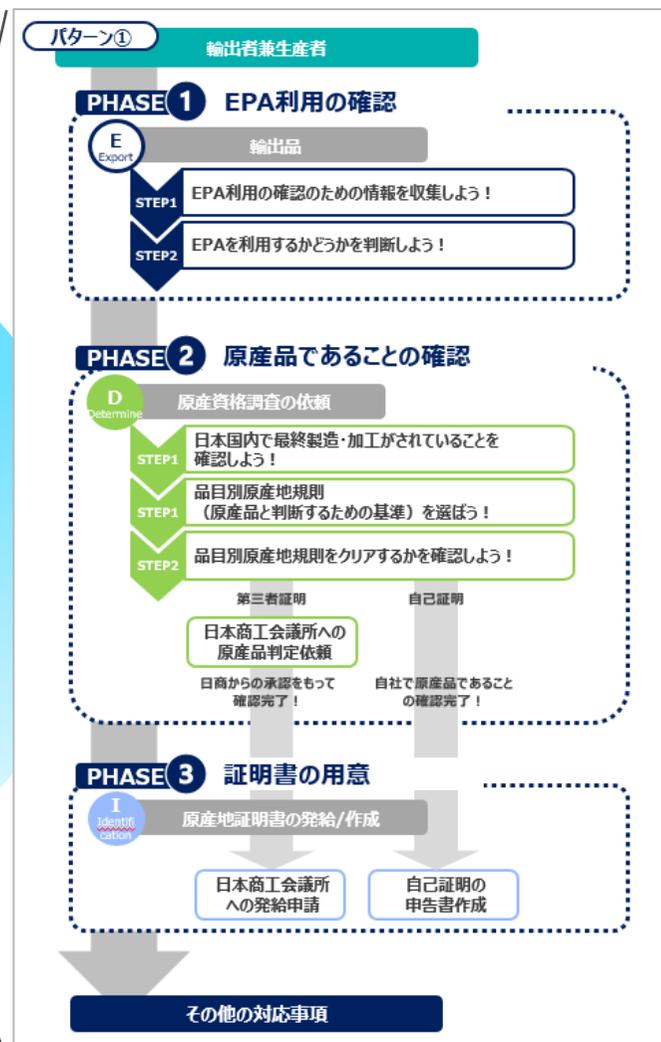
【実務編】の特徴_業界横断

EPA活用までの基本的な作業手順を全体フローにそって解説

実務者編



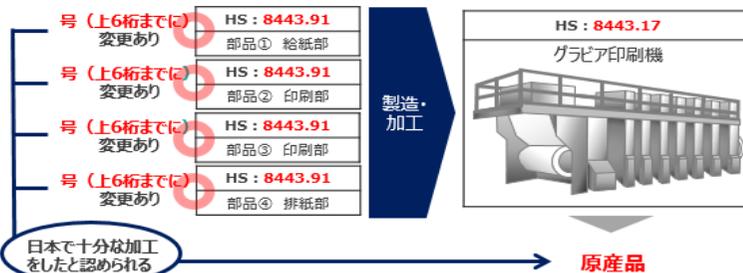
©2022 Tokyo Kyodo Trade Compliance Co., Ltd.



各業界の産品で解説可能な限り図解で解説

例: CTSH (号/上6桁変更) の場合

対象産品 (グラビア印刷機) と、その全ての構成部品 (部品①~④) のHSコードを比較します。材料から対象品のHSコードへ、協定基準の桁数における番号の変更があるため、対象産品は原産品であると認められます。



経産省、財務省、日商、JETRO等 各公的機関の提供している情報を各業界に関係する箇所を抜粋して集約

日-EPA標準フォームダウンロード | 日-EPA標準フォームダウンロード

Origin Certification Document (Certificate of Origin for the Trade Agreement)

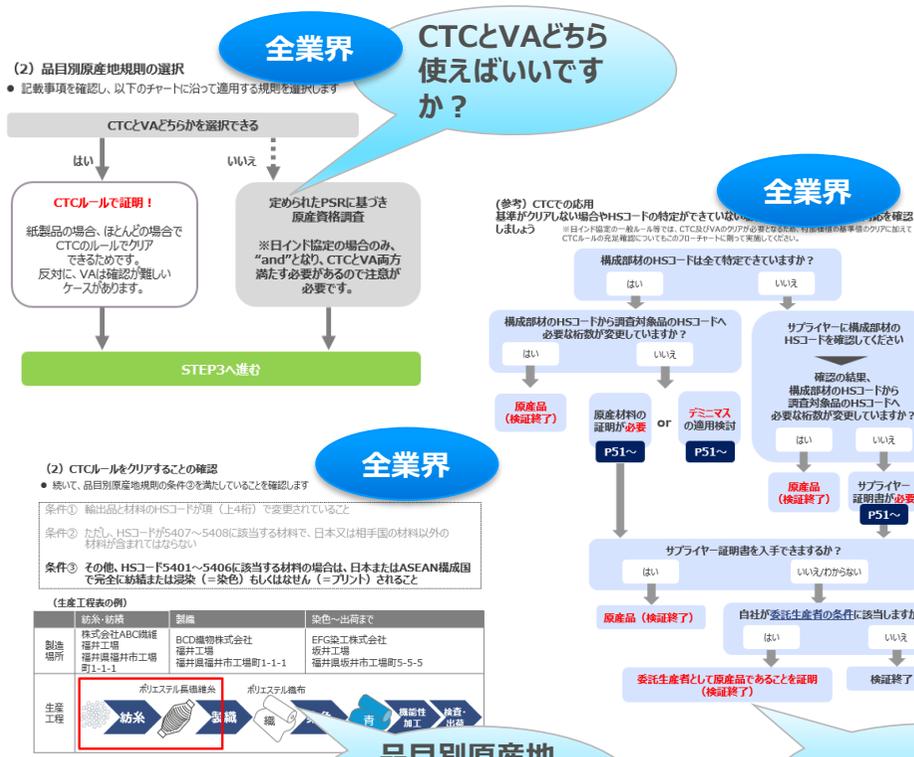
1. 第一種特定産地証明書発給システムから判定依頼を行う手続きは以下の通りです。

- 第一種特定産地証明書発給システムから判定依頼を行う
- 「原産品判定依頼入力」をクリック。次の画面で新規入力をクリックする
- 協約国を選択。次の画面で協定、判定事務所を選択する

【実務編】の特徴_業界特有事項

各業界での「よくあるご質問」を標準の製品の事例をもとに詳しく解説

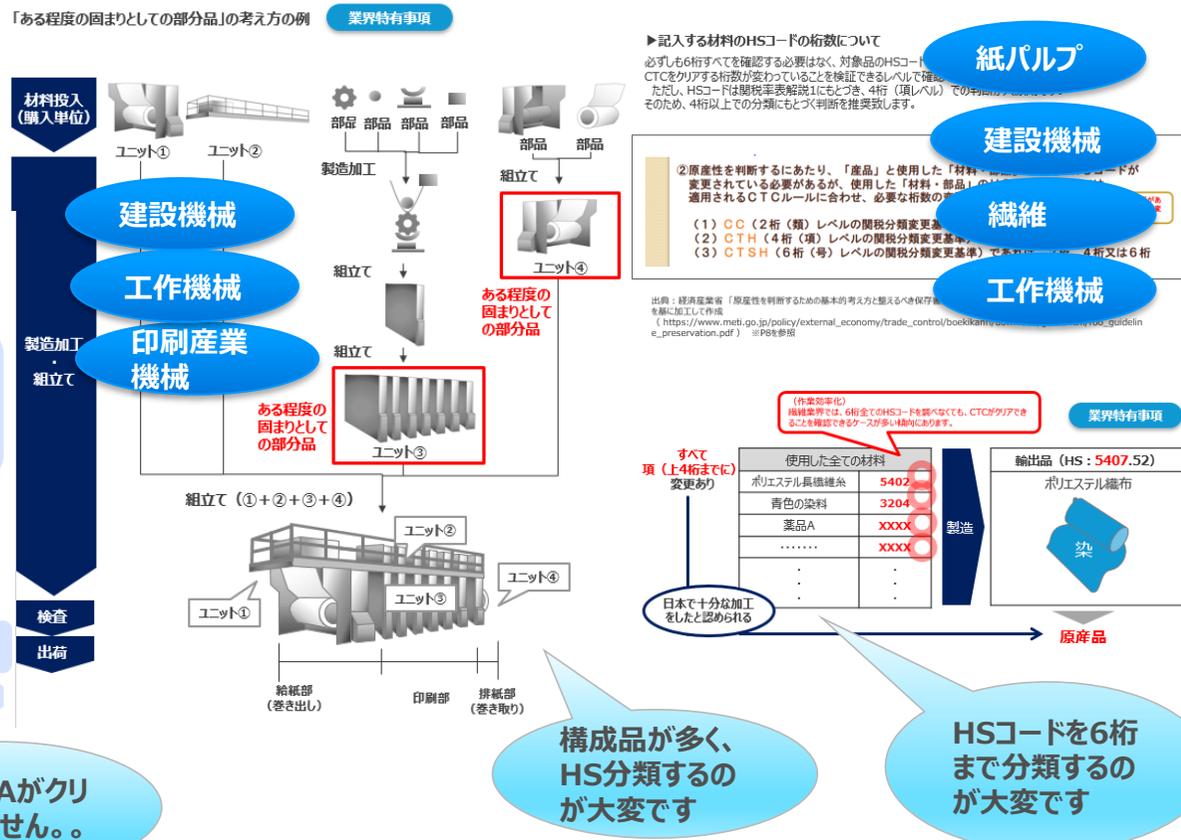
全業界全般的によくあるご質問



品目別原産地規則の意味がわかりません。。

CTC,VAがクリアできません。。

業界別の効率化につながるポイントの解説



【標準フォーム】の特徴_業界横断

EPAの利活用を促進する上で、輸出者側・生産者側双方の負担を軽減するために、業界横断での標準フォームの作成
(ただし、繊維のSPに対応するフォームのみ別途作成)

各協定で定める「原産品」の要件を満たすことを確認するためには、サプライチェーンを遡り、仕入先にも証明作業を依頼しなければならないケースあり。EPAを利用するにあたり、個社別に、**サプライヤーの協力を得るための対応に注力することは、各輸出企業にとって負担**となるとともに、依頼を受ける側のサプライヤーにとっても、得意先により異なる対応が要求されることとなるため、工数増加に繋がり、ひいては業界・日本全体としての利活用が阻害される要因ともなり得る。

⇒**利活用促進のために業界横断での統一したフォームが必要。**



複数社から依頼のある場合に、複数のパターンでの対応が必要

利活用阻害

業界横断での標準項目が整理されていると...



業界で標準項目が統一されているため、1つのパターンでの対応可能

利活用促進

II. 実証要素の成果物 (実証要素 ③ HS LAB)

各業界でのHSコードのデータセットを整理し、EPA/FTA特化のHSコード検索サイトを構築

<https://jaftas.jp/hslab/>



FTA原産地証明に特化!

HSコードの情報提供サイト

経済産業省実証事業(2022/7/1~2023/2/28)

LAB No.1 HSコードの検索

業界用語での
「ふわっと検索」

Quick Search

業界別の情報提供ページ
(自動車/自動車部品、鉄鋼、繊維、紙パルプ、印刷産業機械)

Word Search

HSコードの検索エンジン (自動車/自動車部品、紙パルプ、印刷産業機械)
自動車業界用語、またはHS品目表の用語からHSコードの検索を実現

Tariff Search

HS品目表および注・解説データの閲覧ページ
日本が締結している協定の採用年版 (HS2002~HS2022) 分を掲載
HS番号を入力し検索することで、関税率表解説等の情報閲覧が可能

LAB No.2 HSコード設定サポート

専門家サポート

有識者によるHSコード分類サポート

企業から提供いただいた産品情報を元に、
有識者が分類の見解を回答するサービス

事例共有

有識者が回答した事例をHS LAB上で一般公開

重要サイトの
ブックマーク

LAB No.3 世界のHSサイト情報収集

世界の公的機関が提供するHSコード関連サイトへのURLをまとめて掲載

業界の課題や特徴を踏まえ、業界の方にご協力いただき整理したデータをHSコードの検索サイトに搭載

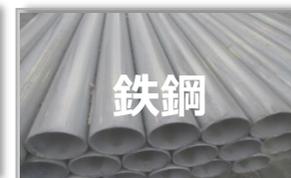
業界	課題	解決の方向性	HSLABでの対応	
自動車 自動車部品	構成部品数も多く、分類における解釈も難しいことも多いことから、HSコード分類の工数負担がかなり重い	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	JAFETASに蓄積された5万件以上の原産資格調査のデータと業界の方々からのデータ提供で業界用語とHSコードの紐づけを整理し、検索サイトを構築 (Quick/Word Search)	自動車業界でよく使われるJIS規格、JFS規格からのHSコード紐づけナビゲーターの一覧の公開 (Quick SearchよりPDFでの一覧表で閲覧可能)
鉄鋼	業界内：知識もあり特段課題なし 業界外：実証事業を通じて、鉄鋼を材料として使用する業界では分類が課題となっている認識をした	業界外に向けて、材質と形状から分類する方法の提示	鉄鋼連盟で作成いただいた材質と形状でHSコードを分類する一覧から検索サイトを構築 (Quick Search)	
印刷産業 機械	知識の壁を超える上で、HSコードの分類が難解	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	印刷産業機械工業会よりご提供いただいた業界用語とHSコードの一覧から検索サイトを構築 (Quick/Word Search)	
繊維	知識の壁を超える上で、HSコードの分類が難解	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	化学繊維協会よりご提供いただいた業界用語とHSコードの一覧から検索サイトを構築 (Quick Search)	
紙パルプ	知識の壁を超える上で、HSコードの分類が難解	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	紙類輸出組合よりご提供いただいた業界用語とHSコードの一覧から検索サイトを構築 (Quick/Word Search)	

【Quick Search】

LAB No.1 HSコードの検索

業界別の情報提供ページ

業界用語をベースにHSコードの簡易検索を実現



鉄鋼ページの例

一覧表で4桁の特定をサポート!!
さらに6桁目以降の候補も表示!!

形状	材質		
	非合金鋼	ステンレス鋼	合金鋼
鋼塊・半製品: インゴット、スラブ、ピレット、 ブルーム	7206 鋼塊(非合金鋼)	7207 鋼塊・半製品(ステンレス鋼)	7224 鋼塊・半製品(合金鋼)
	7207 半製品(非合金鋼)		
鋼板類: 薄板、厚板 コイル	7208 非合金鋼広幅熱延鋼板類(厚中板も含む)	7220 広幅ステンレス鋼熱延鋼板類 (ステンレス鋼も含む) 広幅ステンレス鋼冷延鋼板類	7225 合金鋼広幅熱延鋼板類 (合金鋼厚中板も含む) 合金鋼広幅冷延鋼板類
	7210 非合金鋼広幅表面処理鋼板類	7220 狭幅ステンレス鋼板類	
	7211 非合金鋼狭幅熱延鋼板類 非合金鋼狭幅冷延鋼板類 (みがき帯鋼)		
	7212 非合金鋼狭幅表面処理鋼板類		
線材:	7213 線材(非合金鋼)	7222.10	

ステンレス鋼×薄板は、7220項。
リンクをクリックするとさらに6桁以降の分岐を確認可能!

ステンレス鋼 狭幅・600mm未満 (7220)	熱延鋼板	コイル板・切り板	板厚4.75mm以上	7220.11
			板厚4.75mm未満	7220.12
	冷延鋼板			7220.20
	表面処理鋼板 (めっき鋼板)			7220.90

[閉じる](#)

【Quick Search】 LAB No.1 HSコードの検索

自動車・自動車部品ページの例

部品カテゴリ×名称でHSコードの絞り込みをサポート

自動車部品名から調べる

自動車業界用語を自動車の部品カテゴリ別に掲載しています。
各用語をクリックいただきますと、HSコードの候補が確認できます。
※実際のビジネスや原産地証明手続き、輸出入申告等においてHSコードを分類される際は、必ず当局へご確認ください。
※自動車業界用語は主に乗用車を対象としており貨物自動車や二輪車では異なるHSコードになることがあるためご注意ください。

エンジン関係

燃料装置

- インジェクター
- デリバリーパイプ
- フュエルデリバリー
- 燃料ポンプ
- キャニスタ
- バルブ**
- フュエルパイプ
- 噴射ポンプ
- キャニスター
- フューエルカ...
- 燃料パイプ
- 燃料フィ...

この欄の「バルブ」を選択した場合、エンジンに関するHSコード候補**2件**のみが表示される

類	項	号	号の規定
84	8409	840991	- その他のもの - - ピストン式火花点火内燃機関に専ら又は主として使用するもの
		840999	- その他のもの - - その他のもの

【Quick Search】 LAB No.1 HSコードの検索

自動車業界でよく使われるJIS規格、JFS規格からのHSコード紐づけナビゲーターを鉄鋼連盟、自動車業界に作成いただき公開

参考資料

他業界様からのご要望を受け、一般社団法人日本鉄鋼連盟様にてJIS規格とHSコード、JFS規格とHSコードの対照表をご作成頂きました。

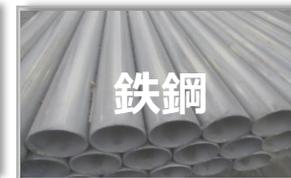
JIS規格とHSコードは、[こちら](#)

JFS規格とHSコードは、[こちら](#)

*1当資料に掲載している情報はあくまで参考情報ですので、原産地証明手続き等においてHSコードを分類される際は、輸入税関にご確認頂くことを推奨いたします。

*2一般社団法人日本鉄鋼連盟および株式会社東京共同トレード・コンプライアンスは、当資料に掲載された情報を利用したことにとり生じたいかなる損害についても一切責任を負いません。

*3当資料に含まれる情報は作成時点のものであり、予告なく変更や掲載を終了することがあります。



灰色染部分は「既定のない合金元素を添加した場合に合金鋼になるもの。余り多くないと思われる。」

※本資料は他業界様のご要望を受け鉄連海外市場グループ事務局で整理したものです。実際のビジネスや原産地証明手続き・輸出入申告等で使用される際は必ず当局にご確認下さい。責任は負いかねます。

JIS種類の記号とHSコードの紐付けナビゲーター

JIS名称	JIS番号	種類の記号	可能性のあるHSコード		
			非合金鋼	合金鋼	
一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101	SS330, SS400, SS490, SS540	鋼板・鋼帯の場合	広幅熱延鋼板類7208.XX 狭幅熱延鋼板類7211.13~19	広幅熱延鋼板類7225.30(コイル), 7225.40(厚板含む切板状) 狭幅熱延鋼板類7226.91
			棒鋼・平鋼の場合	7214.XX	7228.10~40
			バーンコイルの場合	7213.XX	7227.90
			形鋼の場合	7216.10~50	7228.70

自動車業界で通常使われている表記

HSコードの候補

【Word Search】

LAB No.1 HSコードの検索

HSコードの検索エンジン

業界用語またはHS品目表の**用語**からHSコードの検索を実現

自動車・自動車部品ページの例

- ①協定を選択
- ②仕向国を選択
- ③用語を入力
- ④検索対象を選択
- ⑤検索ボタンをクリック

検索対象は以下のいずれかを選択
・自動車業界用語
・号の規定

選択した協定のHS年版に応じた、HSコードの候補が表示されます！！

用語検索 協定を選択、用語を入力、検索対象を指定して「検索」をクリック

輸出統計品目表 (2012年版) における検索結果 (3件)

品目	品名	品目	品名
85	85.44	Q_854430	- 点火用配線セットその他の配線セット (車両、航空機又は船舶に使用する種類のものに限る。)
		Q_854442	- その他の電気導体 (使用電圧が1,000ボルト以下のものに限る。)- - 接続子を取り付けてあるもの
		Q_854449	- その他の電気導体 (使用電圧が1,000ボルト以下のものに限る。)- - その他のもの

自動車業界用語

- ケーブル
- ワイヤーハーネス
- サブリードワイヤー
- エクステンションワイヤーハーネス
- コード
- ソケットコード
- プラスリードワイヤー
- マイナスリードワイヤー
- ケーブル
- ワイヤーハーネス
- ダイアグノスティックフラッシュアダプタ
- テストハーネス

「ワイヤーハーネス」「トランスミッション」等品目表上で使用されていない言葉でも検索可能！！

自動車業界用語
日本語…約**1,600語**
英語……約**1,500語**
搭載 (2022年7月現在)



【Tariff Search】 LAB No.1 HSコードの検索

HS品目表および注・解説データの閲覧ページ
 日本が締結している協定の採用年版（HS2002～HS2022）分を
 掲載。HS番号を入力し検索することで、関税率表解説等の情報閲覧が可能。

①HSコードを入力し検索

HS LAB
経済産業省特許情報基盤 実証サイト

表題・規定のページ

HS年版※
2017 ▼

類項号
900130

表示
条件をリセット

86	鉄道用又は軌道用の機関車及び車両並びにこれらの部分品、鉄道又は機械式交通信号用機器（電気機械式のものを含む。）		
87	鉄道用及び軌道用以外の車両並びにその部分品及び附属品		
88	航空機及び宇宙飛行体並びにこれらの部分品		
89	船舶及び浮き構造物		
18部	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機の部分品及び附属品		
90	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器及び医療用機器並びにこれらの部分品及び附属品	注	解説
9001	光ファイバー（束にしたものを含む。）、光ファイバーケーブル（第65.44項のものを除く。）、偏光材料製のシート及び板並びにレンズ（コンタクトレンズを含む。）、プリズム、鏡その他の光学用品（材料を問わないものとし、取り付けたもの及び光学的に研磨していないガラス製のものを除く。）、	-	解説
900110	- 光ファイバー（束にしたものを含む。）及び光ファイバーケーブル	類注	- 確認する
900120	- 偏光材料製のシート及び板	類注	- 確認する
900130	- コンタクトレンズ	類注	- 確認する
900140	- ガラス製の眼鏡用レンズ	類注	- 確認する
900150	- その他の材料製の眼鏡用レンズ	類注	- 確認する
900190	- その他のもの	類注	- 確認する



注・解説の参照も可能。

②検索結果がハイライトで表示される

EPA/FTAを活用する上で必要な情報を集約 EPA/FTA特化の情報検索サイト

<https://jaftas.jp/ftaport/>

**初心者向け
簡易な表現で
EPA/FTAをわかりやすく解説!**

FTAははじめの一歩

- ▶ マンガでわかるEPA
- ▶ JAFTASでまなぶFTA
- ▶ 5分でわかるEPA

FTAを使ってみよう!

- ▶ ひな型
- ▶ やることが分かる診断チャート
- ▶ 進め方が分かるフローチャート

業界別情報

- ▶ 業界別情報

輸出者・生産者等の立場別にフローを提示
経産省 財務省 日商JETRO等の関連サイトとのリンクを一覧化

業界別EPAマニュアルを掲載

**関連法令を網羅!
(協定を横書きで閲覧可能)**

第1-1条 定義

この章の規定の適用上、

(a) 「輸送」とは、成貨又は成貨の過程において生産を目的とする輸送（通常の荷役、積換、積長生持等の保護等）により、種類（卵、稚魚、幼魚、小魚その他水生動物の稚魚も含む。）を包装することを含む。

(b) 「貨物」とは、一の輸出者から一の輸入者に渡付される物品又は一の輸出者から一の輸入者への輸送を伴う一連の運送過程（そのような運送がない場合には、一連の仕入品）の対象となる物品をいう。

(c) 「輸出」とは、締約国に所在する者であって、当該締約国の法令に定める要件に従い、原産品を輸出し、又は生産するもの（原産地に関する申告を伴う者に限る。）をいう。

FTAの協定条文

- ▶ 協定条文
- ▶ 運用規則
- ▶ 譲許表
- ▶ 国内法

FTAの奥深い世界

- ▶ 関税よもやま話
- ▶ グローバル関税情報

世界の税関

- ▶ 事前教示制度
- ▶ 関税率検索

海外の税関サイト
事前教示 関税率検索のサイトへのリンク集

アジア・オセアニア			
<p>中国</p> <p>中国関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示 	<p>韓国</p> <p>韓国関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示 	<p>オーストラリア</p> <p>オーストラリア関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示 	<p>インド</p> <p>インド関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示
<p>インドネシア</p> <p>インドネシア関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示 	<p>シンガポール</p> <p>シンガポール関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示 	<p>タイ</p> <p>タイ関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示 	<p>フィリピン</p> <p>フィリピン関税情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関税率検索 ・ 事前教示

社内教育ツールとして有効活用!

合格

おめでとうございます!

Your Score: 100% (100 points)
合格ライン: 80% (80 points)

FTAの理解度クイズ

FTAのQ&A

用語集

EPA/FTA専門用語
約100ワードの解説

■ 実証要素①-④をワンストップで実施できるデジタルツール



2022/7/1~2023/2/28
の期間、
実証事業参加企業へ
無料開放

実証事業版
JAFTASへ
のご利用を
通じ、各種
業界からご
意見を集約
するとともに、
一部改修を
致しました

7/1時点
搭載済
機能

10/1時点
搭載済
機能

調査のプロセス

調査の準備

必要情報の
収集

依頼が発生
する場合

書類作成
/作成後

HSコードの
マスタ管理

JAFTAS®のソリューションを利用するメリット

- ①原産地証明の全体フローが分かる
- ②関係者を巻き込み、役割分担ができる
- ③過去に調査実績がある場合、調査内容を活用することができる

- ④最新の制度や法令が反映されている
- ⑤HSコード、関税率、品目別原産地規則などを一度に確認できる

- ⑥社内外の進捗管理ができる
- ⑦仕入先への依頼の仕方が分かる

- ⑧日商と合意されたフォーマットを作成できる
- ⑨システム上に関連書類を保管できる
- ⑩検認時に必要情報を見つけやすい

- ⑫製品情報と分類根拠を紐づけ、FTA用のHSマスタを作成できる
- ⑬過去の類似品番の分類履歴を確認、活用することができる
- ⑭HS LABのリンクを掲載し、検索・分類~マスタ管理の一連操作を実現

⑪繰り返し
使用する
ことで、
社内体制が
構築される

II. 実証要素の成果物

実証要素①-④の相関関係

EPAメリットの確認に必要な情報を1枚のシートにまとめ、
利用可能な協定と効果額を比較

実証要素① 業界マニュアル 実証要素② 標準フォーム 実証要素③ HS LAB/④ FTA Port



PHASE 1
EPAメリットの確認

ステップ1
EPA利用の確認のための情報を収集しよう！

ステップ2
EPAを利用するかどうかを判断しよう！

標準フォーム1 EPA利用確認シート

国を選択すると自動的に協定・制度が表示

インボイス価格	4,500,000			
輸入国	ベトナム			
輸入通関のHSコード	8443.17.00			
通常の間税率 (%)	20.0%			
	二国間	日アセアン	CPTPP	RCEP
利用可能協定	日ベトナム協定 HS2007	日アセアン協定 HS2017	CPTPP HS2012	RCEP HS2022
証明制度	第三者証明制度	第三者証明制度	自己証明制度	第三者証明制度
EPA税率	1.0%	2.0%	0.0%	18.2%
EPAを利用しない場合の開税額	900,000	900,000	900,000	900,000
EPA適用時の開税額	45,000	90,000	0	819,000
EPA適用による効果額	855,000	810,000	900,000	81,000

最も効果額が大きい



世界の税関

ベトナム

ベトナム税関HP

関税率検索

表記: ベトナム語

海外の税関サイトで関税率の検索

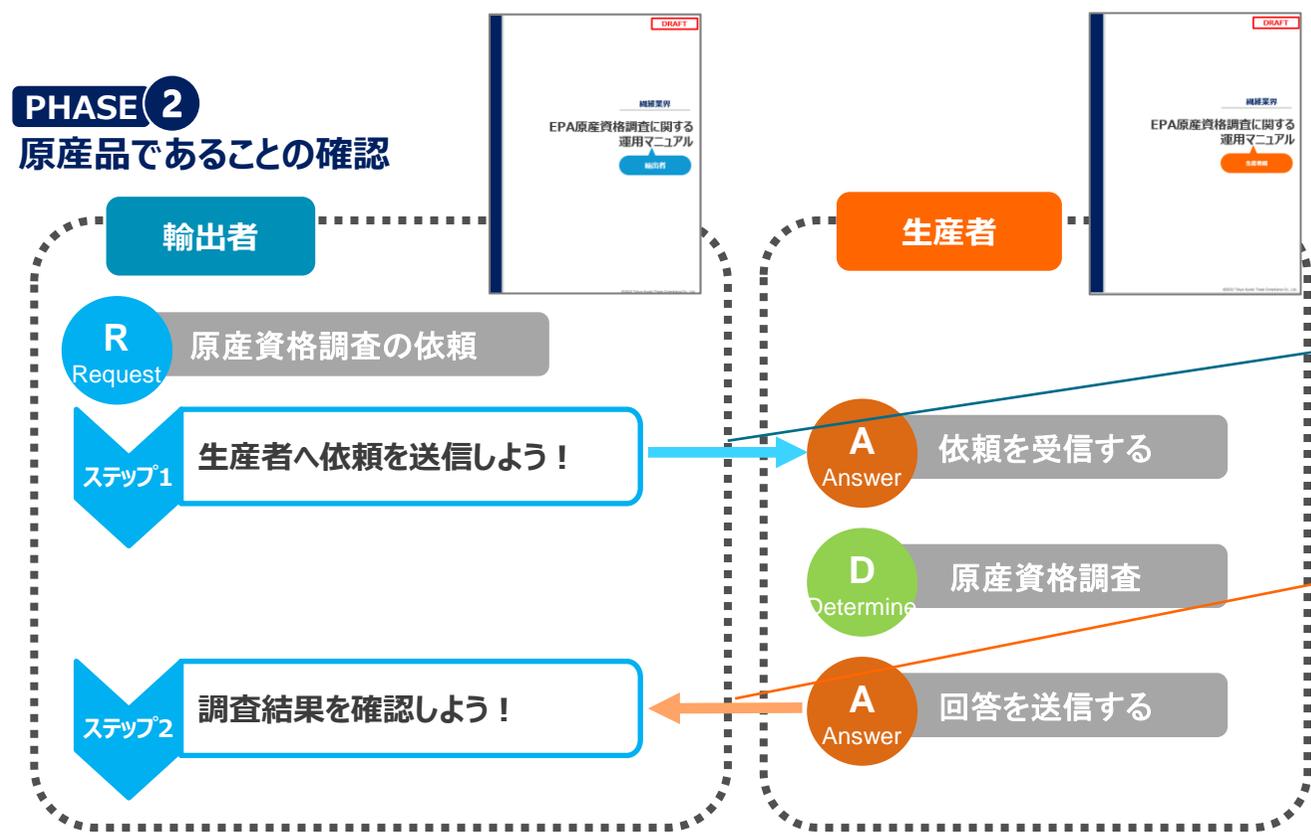
II. 実証要素の成果物

■ 実証要素①-④の相関関係

原産品であることの確認において輸出者と生産者が異なる場合に、
輸出者と生産者のコミュニケーションに必要な情報を整理

実証要素① 業界マニュアル

輸出者と生産者が異なる場合は冊子を分け、自社に必要な手順のみ確認できるよう整理



実証要素② 標準フォーム

輸出者から生産者へ調査依頼する際にどのような項目を伝えるか等、協定制度上、規定されていない

標準フォーム2 依頼・回答シート

The form is divided into two main sections: (1) Request and (2) Answer. It contains various tables for recording company information, investigation details, and results.

項目名 (項目)	内容	品名 (品名)	品名 (目)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)
品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)
品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)	品名 (品名)

↓

**実務運用上、
情報伝達を正確かつ網羅的に実施するため、項目整理は非常に重要**



■ 目次

I .実証事業の概要

II .実証要素の成果物

III .各業界の実証要素に関する活動実績

Ⅲ.各業界の実証要素に関する活動実績

各業界の実証要素に関する活動実績

業界		EPA業界マニュアル/ 標準フォーマット (実証要素①②)	HSコード データセット (実証要素③)	デジタルツール へのフィードバック* (実証要素④)
自動車及び輸 送機器	日本自動車工業会及び会員企業	△	○	○
	日本自動車部品工業会及び会員企業	△	○	○
産業機械	日本工作機械工業会	○		○
	日本建設機械工業会	○		○
	日本印刷産業機械工業会	○	○	○
金属鉄鋼	日本鉄鋼連盟	○ (JAFATS版)	○	○
繊維	日本繊維産業連盟	○	○	○
	日本繊維輸出組合			
	日本繊維輸入組合			
	日本化学繊維協会			
紙・パルプ	日本紙類輸出組合	○	○	○

△ = 実証事業以前に取り組みれていた場合

○ = 実証事業において取り組んでいた場合

*業界団体からのご案内を受けてTKTC主催のセミナーへご参加いただいた会員企業様よりセミナーのアンケート回答としていただいたフィードバックも含まれます。

Ⅲ.各業界の実証要素に関する活動実績

各業界の実証事業における活動内容

業界		活動内容
自動車及び輸送機器	日本自動車工業会の会員企業	<ul style="list-style-type: none"> ・業界用語とHSコードのデータセット整備 ・JISコードとHSコードの対応表整備(鉄鋼業界と協業) ・実証事業版 JAFTAS改修の要件定義
	日本自動車部品工業会の会員企業	
産業機械	日本工作機械工業会	<ul style="list-style-type: none"> ・業界マニュアルの作成 ・会員企業向けEPA勉強会 ・工作機械業界のEPA活用実態調査
	日本建設機械工業会	<ul style="list-style-type: none"> ・業界マニュアルの作成 ・会員企業向けEPA勉強会 ・建設機械業界のEPA活用実態調査
	日本印刷産業機械工業会	<ul style="list-style-type: none"> ・業界マニュアルの作成 ・HSコードのデータセットの整備 ・会員企業向けEPA活用のための基礎セミナー ・印刷産業機械業界のEPA活用実態調査
金属鉄鋼	日本鉄鋼連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄鋼HSコードのデータセット整備 ・JISコードとHSコードの対応表整備(自動車業界と協業) ・実証事業版JAFTASに対する鉄鋼業界における課題点の整理 ・業界マニュアルの作成 (JAFTAS利用版)
化学	日本化学工業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・JETRO主催セミナー 経営者が知っておくべき事業戦略とEPAの関係 —化学品を例示に— 講師として登壇
繊維	日本繊維産業連盟 日本繊維輸出組合 日本繊維輸入組合 日本化学繊維協会	<ul style="list-style-type: none"> ・業界マニュアルの作成 ・HSコードのデータセットの整備 ・会員企業向けEPA活用のための基礎セミナー ・繊維業界のEPA活用実態調査
紙・パルプ	日本紙類輸出組合	<ul style="list-style-type: none"> ・業界マニュアルの作成 ・HSコードのデータセットの整備 ・会員企業向けEPA活用のための基礎セミナー ・紙・パルプ業界のEPA活用実態調査

Ⅲ.各業界の実証要素に関する活動実績

■ 実証事業にご協力いただいた団体

30の業界団体の方々にご協力いただきました。

ご協力いただきました業界団体の皆さま、誠にありがとうございました。

自動車	金属・鉄鋼	産業機械	紙パルプ	素形材
日本自動車工業会 日本自動車部品工業会 日本自動車車体工業会	日本鉄鋼連盟 特殊鋼倶楽部	日本電機工業会(JEMA) 日本機械輸出組合 日本建設機械工業会 日本工作機械工業会 日本産業機械工業会 日本繊維機械協会 日本食品機械工業会 日本印刷産業機械工業会 日本ベアリング工業会	日本紙類輸出組合 日本製紙連合会	素形材センター 日本鑄鍛鋼会 日本金属継手協会 日本粉末冶金工業会 日本バルブ工業会 日本マグネシウム協会
情報通信機器	繊維	化学	その他	
電子情報技術産業協会 (JEITA)	日本繊維産業連盟 日本化学繊維協会 日本繊維輸出組合 日本繊維輸入組合	日本化学工業協会 日本化学品輸出入協会	日本貿易会	